

比婆山山麓の熊野神社にて

市は、庄原いちばんロゴマークのキャラクターの一つ「ヒバゴン」の着ぐるみを製作しました。もう一つのキャラクター「キョロやまくん」と一緒に本市のPRを行います。市のFacebookページ「庄原いちばん 見えね！」(https://www.facebook.com/shobara.ichiban)の観光地を巡るシリーズ投稿に登場中です。



2 特集 市政懇談会

- 8 平成26年度自治振興区活動促進補助金事業
- 10 軽自動車税の税額が変わります
- 12 庄原市斎場再編整備計画策定
- 13 新たに2つの予防接種が始まります
- 14 子ども・子育て支援新制度がスタートします
- 15 安心・安全な毎日のために/母子保健だより
- 16 市政トピックス
- 17 カメラレポート
- 20 読者コーナー
- 22 健康広場
- 23 お知らせ

Report 4 地域医療について考える
市民公開講座「地域医療講演会」

医師不足を始めとする地域医療の問題・課題について考える「地域医療講演会」が9月5日、ウイル西城で開催され、地元住民を中心におよそ200人が来場しました。



▲講演する荒木理事長

西城町出身で西城市民病院の専門外来でも診療している荒木脳神経外科病院の荒木攻理事長が、「医療人に市民は何を期待するのか」と題して講演。

講演の中では、医療人としての姿勢について述べた後、自身の経営する病院を例に挙げながら、近年の医療情勢をとりまく変化について紹介。また、「“チーム医療”がこれからのキーワード」とし、医療にかかる各専門分野の壁を越えたスタッフの連携が必要であると語りました。

来場者からは「他人事にせず考えることが大切」「医師を地域ぐるみで支えることが必要」などの声上がり、医療従事者からは「職員間で患者の目線に立った医療を担うという目的を共有し、それに向かった仕事をしたい」「医療従事者も、よりいっそう学ぶ姿勢が必要」といった声が聞かれ、それぞれの立場で地域の医療について改めて考える機会となりました。